

鎌倉市議会議員久坂くにえ

www.kkusaka.net

久坂くにえ通信

Twitter は
@KUSAKAKUNIE



昭和 48 年 2 月生まれ 0 型 聖心女子大学文学部英文学科卒業 観光厚生常任委員会
広報委員会所属 かがやく鎌倉を創る会所属 前関東若手市議会議員の会神奈川ブロック会長

第47号2011年10・11月

若者は何歳まで？

鎌倉市で子ども・若者育成プランが策定されました。プランの中で、若者は 30 歳まで(就職支援などについては 30 歳代まで)という定義になっており、上記タイトルの答えは、30 歳。(プラン内ですが)

同プランの目標は、豊かな人間性、社会性と主体性、街を愛する心の育成など。

若年層の就職難、ニート、フリーター、非正規雇用の増加など若者を取り巻く環境が厳しいことが報道等で伝えられています。次の社会の担い手にどう活躍してもらうのか、真剣に考えるべき課題です。

また、プラン内では目標を達成するため、3点の重要な取り組みが上げられています。

そのうちのひとつが「子ども・若者による社会参画の推進」

社会参画の推進という具体的なイメージが難しいですが、例えば札幌市ではあらゆるまちづくりのシーンにおいて次世代の主演、子どもたちの意見を集めて、反映させることに力点を置く取り組みを展開しています。プランの策定にとどまらず、先進事例に学び本気で子どもの声を聞くことができる、実効的な取り組みを行うよう要望しました。

■ 防災対策は続く～9月定例会一般質問概要～

3.11 を受けて教育委員会では学校における地震対応マニュアルを策定しました。同マニュアルに基づき、各校で防災計画等を策定します。

今回はこのマニュアルについて質問を行いました。

3月に混乱のもととなった、下校の対応については、震度5強以上の大災害等の場合、小学校は原則引渡し。そして、中学校については海岸部に近い学校や、下校時に保護者不在の場合などを除く集団下校となることが決められ、マニュアルでも明記されています。

こういった学校の対応について、保護者の方に事前に理解を頂き、周知することはもとより、いざというときの災害時には、しっかり情報が行き届くよう、提供手段を強化することを6月定例会に引き続いて要望しました。すでに情報周知には努めていて、保護者の方からも一定の理解を得ているという答弁でしたが、こうした事は何度でも繰り返し行う必要があります。

また、すでに3.11以降、各校で避難訓練が実施されていますが、災害対策の陣頭指揮を執る学校長、また救護担当の教職員、また防災教育の実施等については、充実した研修を実施するよう要望しました。

なお阪神・淡路大震災時では、学校は地域コミュニティの中心であったという振り返りが現地の教職員から報告されています。平時から学校地域との関わりをどう構築しておくのか、たとえば自主防災組織との学校の情報交換、共有などを図り関係をしていく事が必要と指摘しました。

■ 行革元年の振り返り～決算特別委員会質疑事項～

9月定例会では平成22年度決算等審査特別委員会が実施されました。なお22年度予算は松尾市長にとって初の予算編成であり、そのカラーの打ち出しに注目が集まっていました。

委員会では質疑・指摘を行った各項目の抜粋は以下の通りです。

1) 最近でも、一職員の業務・進捗状況を把握できていなかったことに端を発する不祥事が起こりました。残念ながら、初めてのケースではありません。

各職員の担当する業務の内容・進捗状況を部署で共有し、適正な仕事が進められる環境づくりの必要を指摘しました。

2) また今回の災害でも再び明らかになったように、地域での助け合い、地域力、コミュニティ力は大切です。

地域コミュニティ活性化のために、2地区を選定して、3年間の地域コミュニティ活性化事業が行われましたが、その検証がどのように行われ、今後各地域でどう展開し、地域力の向上につなげるのか、その方向性を問いました。

3) 新生児訪問事業の訪問率が95%越えの高さ。訪問事業は虐待の防止と母親の育児支援に役立ちます。今後も高い訪問率を維持できる体制づくりを要望しました。

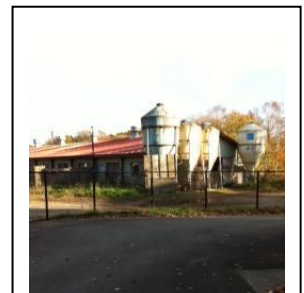
4) 高齢者の方などが安心して住まいを確保できるよう、相談体制を整え、事業を実施する必要性を指摘しました。

5) 小中一貫教育指針が策定されました。教職員の取り組みへの更なる理解を深め、着実な一貫教育となることを要望しました。

ミニコラム
①先日青森で行われた市議会議長会フォーラム
議長会フォーラム
2400人の議員が集結。
②新青森馬具ホームに降りたフダクスーツの男性議員の大群...
③女性議員数は全国平均約10%
なので、むべなるかなの光景です。
*しかし自分もフダクスーツは地味

■ 新エネルギーのまち・葛巻町を視察して

所属する観光厚生常任委員会で、葛巻町を視察しました。風力発電の風車の光景で有名な同町ですが、他にも太陽光発電、畜ふん・木質バイオマスなど様々なエネルギー施設が設置されています。95年に地域資源を生かした町の魅力づくり「自然とともに豊かに生きる町」宣言を打ち出し、コンセプトに沿ったまちづくりを展開。集客にも成功し、強力な地域ブランド構築に成功した街の一つと感じました。



(写真：くずまき牧場畜舎)

鎌倉はすでに街のブランドは確立されていますが、さらに生かす施策が必要と感じます。

ご自宅周りを5枚でも10枚でもポスティングして下さるかたを募集しています！

募集しています

久坂くにえを応援して下さる方
この通信の配布などお手伝い下さる方
サポーターを随時募集しています。

お気軽にご連絡ください！お待ちしております

久坂くにえサポーターズクラブ

〒247-0056 鎌倉市大船 2-10-25-302

TEL/FAX 0467-47-1905 メール:mail@kkusaka.net

HP: http://www.kkusaka.net